u003002	［平内区］　棒踊り	概要　適用

u003002001）棒踊りは八幡神社秋の大祭で奉納される。

u003002002
秋の大祭神事

u003002003
踊り手一同お祓い

u003002004
踊り手一同拝礼

u003002005
棒踊りの始まり

u003002006
棒踊り前半

u003002007
棒踊り前半

【概要】
棒踊り（八幡神社大祭奉納）
・鹿島県各地に伝わる伝統芸能、古くは戦国時代からといわれる民衆の踊りで、棒や鎌、長刀を手に武術を型にしている。
・平内では80cm と90cm、2 種類の棒が使われているが、麦生では盆になぎなた踊りが演じられる。
・平内でも現在は棒だけだが、資料①によれば棒と鎌とある

棒踊り 平成27年9月27日（旧8月15日）の記録
・10:30 から益救神社宮司を斎主として大祭神事が執り行われた。
・保存会員の踊り手は公民館で着替えてグランド入口付近で待機、11:30 前頃に道唄を唄いながら境内に入場。
・宮司が祝詞奏上、お祓いを受けて一同社殿に向かって礼拝し、棒踊りを奉納した。
・踊り手は浴衣姿に鉢巻きを締め、華やかな帯をたすきにかけて踊る。
・5分ほど棒を手に列をなして踊った。
・花の披露などあり、最後は円陣をつくって素手で踊った。
≪棒踊り動画あり――リンク？≫

【参考資料】
①屋久町郷土誌第 1 巻村落誌上
②屋久町郷土誌第 4 巻
他に区長、他聞取り

【写真】
u003002001)棒踊りは八幡神社秋の大祭で奉納される。
u003002002)秋の大祭は益救神社宮司を斎主に迎えて行われる。
u003002003)踊り手（保存会）は境内で斎主のお祓いを受ける。
u003002004)参拝する踊り手一同。

u003002008
棒踊り後半(素手)a

u003002009
棒踊り後半(素手)b

u003002010
棒踊り後半(素手)c

u003002011

棒踊り一同退場

u003002012

平成 27 年踊り手一同

u003002013

歌い手

u003002005)列を組んで棒を手に棒踊りが始まる。

u003002006)棒踊り a

u003002007)棒踊り b

u003002008)棒踊り後半は素手になり、円陣をつくって舞う。

u003002009)後半は素手の踊り b

u003002010)後半は素手の踊り c

u003002011)一同退場

u003002012)平成 27 年踊り手一同(保存会)

u003002013)歌い手

【動画】
u003002014)平内八幡神社大祭棒踊り入場、お祓い　03:18
u003002015)平内八幡神社大祭棒踊り演技全　　11:01